

2月22日(木)14:00~15:00 熊谷市中西にある「ふる里ホーム熊谷」で公演を行いました。昨年7月に続いて2度目の公演です。

熊谷総合病院の近くですが、市街地の開発中で看板も無く、分かりにくい場所です。ただ2度目のため、無事到着しました。初めてのIさんは迷ったようです。

25名ほどの参加で、職員さんは5~6名、全体的には皆さんお元気でごく普通のホームの感じでした。



久しぶりに全員6人での公演です。まず座長の挨拶に始まり、玉すだれの基本演技、もう慣れたものです。しかし…最近、追加した扇子の振りは、まだまだかな？

次に「きよしのズンドコ」手拍子もいただきながらの踊り、拍手を頂きました。

三番目の出し物は、「麦畑」。これもペアでいつものように、最後の決めポーズも決まりました。



続いては久しぶりの演目で「サザエさん体操」を皆さんと一緒に踊りました。元気に一緒に手足を動かす方、ゆっくりとした動きの方、それぞれができる範囲で歌に合わせていました。

再び、玉すだれの演目として、「ああ人生に涙あり」。この演目は比較的新しいもので、皆が慣れて演技が揃うまで難しいですが、徐々にうまくなっているようです(自画自賛！)。

最後の「この印籠が目に入らぬか！」の決めポーズも見事に決まりました。



手品。Iさんがロープマジックを4種、そして「新聞紙に水」のマジック・・・見事にこぼれず、赤い水に変わってしまい大成功でした。

Kさんのマジックもロープ、ネクタイ、そして消える玉のマジックを演じました。



やはりマジックは見ている方の反応もよく、大きな拍手を得られました。

本日予定の演目はここまで、前回は見ている方から「玉すだれに触ってみたい！ やってみたい！」という要望もあったこともあり、「ふれあいタイム」を持ちました。



皆さんに阿弥陀様などを作っていたいただき、にこやかな笑顔で職員の方に写真をとってもらっていました。





ふれあいタイムの終わり頃、三人で玉すだれを使って、形を作って皆さんに当てていただく「これなあ似」を行いました。



残念ながら、今回は、正解がなかなか出ませんでした。

少し、むつかしかったのかなあ・・・



予定の時刻、3時になり座長の終演と御礼の挨拶で締めました。

今回、急遽「ふれあいタイム」を設け、皆さんが玉すだれに触れ、その重さや不思議な動きをすることを体験して、皆さん自身で形を作って「できた！できた！」と笑顔になられるのを見て、改めて良かったと思いました。

帰りにはまた来てくださいの声も頂き、ありがたい思いで施設を後にしました。

記： 加藤 治朗